

---

冬

雪空

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

冬

### 【コード】

N9918C

### 【作者名】

雪空

### 【あらすじ】

幼馴染みの白あきと俺。アイツが俺の気持ちに気づいてくれんのはいつかな…

(前書き)

寒い冬にちよっぴり温かくなるお話です。

「はぁ……………寒っ。何でこんな日に俺外にいんだよ。」

理由はこうだ。幼馴染みの白がこの間彼氏に振られた(らしい)。んで、ストレスの発散に今日1日付き合えと。このポジション結構ツライんだよな…

「まったく、人の気も知らねえで……………」

「何1人でブツブツ言ってるの？ハゲるよ？」

「おっわ！？何だよ、突然沸いてくるなよな。」

「私は温泉かつつうの。」

やっべー、めっちゃビビった……………聞かれてないよな？

「ってか、お前が誘って遅れるなよ。」

「2分遅れただけじゃん。」

「普通は5分前に来んだよ。」

「はー、相変わらず細かい男だね。だから彼女出来ないんだよ。」  
グサツ

「うるせー、ほっとけ！」

俺は細かいとかママとかよく言われる。特に意識してやっているわけではないが……………まあ、適当過ぎるやつが近くにいたせいかな。反面教師ってやつ？(使い方あってるか?)

「今日ほとんどん付き合ってもらおうから」

「はいはい……………で、どこ行くんだよ？」

「んー、適当。」

「またかよ。ホント行き当たりばったりだな、お前……」  
「楽しきやいいのよ。楽しきや」

はあー……ホント適当なやつ。でもこいつの「こうゆう」に救われ  
たりすんだよな。

「じゃあ、レッツゴー」

「おー……」

「気合いが足らん気合いが！」

ドカツ

「痛ってえ。飛び膝蹴りかますなよな。」

「だって……」

は、くしょっ

「ほら、そんな寒いカツ」してるから。」

「寒くないもん！」

「痩せ我慢すんなって。お前冷え性なんだから。ほらよ、手袋。」

「あ、ありがとう。」

「行くか。」

「うん 聖、映画行こ。映画。」

「はいはい（笑）」

もしもこのポジションでいいか……な？

(後書き)

私も冷え性です。冬は手袋、マフラー、ホッカイロが外せません  
笑)

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9918c/>

---

冬

2010年12月15日03時18分発行